

その積み荷、 本当に“正確”に測れていますか？ 電子トリム・ヒール計の導入で液量測定が飛躍的に向上！

なぜトリム・ヒール計が 重要なのか？

理由1 液量の正確な把握

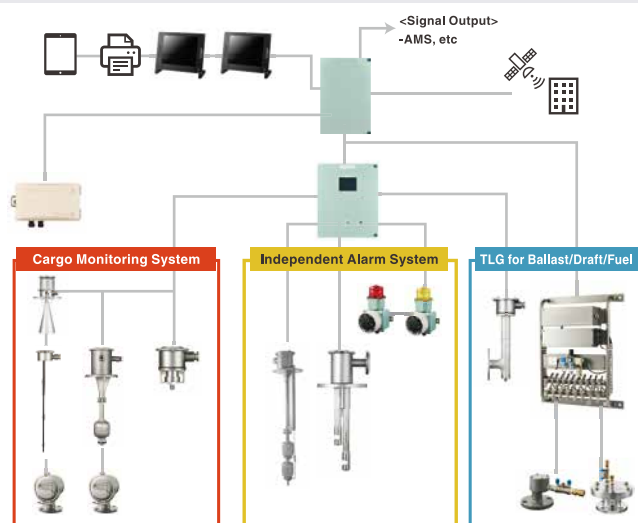
電子トリム・ヒール計を使用することで、タンク内の液面の変化をより正確に測定でき、液量を確実に把握できます。

理由2 データの一元管理

液面計と傾斜計のデータ、タンクテーブルを統合することで、タンクの運用状況を総合的に正確に管理が可能になります。

設置方法は各種ご提案いたします。
簡単な設置方法による想定作業工数は

2名×6.0時間×3日間 です！



自動容量計算で船員の業務軽減

作業手順（積荷役完了後）

① 船舶の傾斜角度を自動計測



電子トリム・ヒール計表示例

アナログ方法では・・・

船首、船尾の喫水（トリム）、アナログ傾斜計（ヒール）を目視確認します。

② 積荷高を自動算出



荷役モニタリングソフト表示例

アナログ方法では・・・

液面、トリム、ヒールの修正値からの算出が必要です。

③ 積荷高から容量を自動算出



荷役モニタリングソフト表示例

アナログ方法では・・・

タンクテーブルを用いた容量換算が必要です。